



実習生寮中庭のガクアジサイの花。今年もきれいに咲いています。

6月に入りました。早くも夏日や、猛暑日まで飛び出す日も出てきています。通常であれば、教室は実習生の皆さんの熱気と相まって、エアコン全開でも暑さを感じるくらいの活気に溢れている時期です。ところが、今年の6月は、新型コロナウイルス感染拡大による日本政府の入国制限の影響で、先月に続き日本語講座受講実習生は0名。

そんな中ですが、緊急事態宣言の解除後、日本経済も徐々に回り始め、また、7月目標とされる入国規制緩和の対象国にベトナム・タイが入っているなど、明るいニュースも聞こえ始めています。「少し光が見えてきたかな」と思うのは、実習実施機関や受入団体の皆様も同じお気持ちではないでしょうか。もしばらくは、辛抱の時期が続くと思われませんが、近い将来、技能実習生の来日が再開される日が来ることを願うばかりです。

あじけんスコープ Vol.86

～コロナ渦による帰国困難実習生～



今月のあじけんスコープは、実習生寮に入寮中のベトナム人実習生?の皆さんです。

左の写真に寮監の高見(写真中央)と写っている4人の青年たちは、先月無事に3年間の実習期間を満了しながら、今回のコロナ渦の影響で、帰国困難になってしまった為、緊急避難的な措置として、帰国できるまで、本校でお預かりしている元実習生(本校の卒業生)の皆さんです。

新型コロナウイルスが終息し、日本を始め、各国の入国制限が一日も早く解除されることを待ち望むばかりです。

今月の実習生番外編



今月は番外編として、EPAの介護福祉士候補生として来日し、茨城県内の高齢者福祉施設に勤務しながら、当校で毎月1回5日間の合宿型国家試験対策講座を受講中の、Meilentari Windi(写真向かって右)とOrellana Evangeline(写真向かって左)の2人を紹介させていただきます。

初めまして。ウンディと申します。インドネシアから参りました。施設の方や先生方からのサポートに感謝しております。国家試験に合格したら、家族を呼んで日本で一緒に住みたいです。これまで私の勉強を支援してくださった方々のためにも、気持ちを込めて精一杯に勉強して、試験に合格したいです。

Meilentari Windi (ウンディ)

初めまして。ジェリンと申します。フィリピンから来ました。来年介護福祉士の国家試験を受けます。働きながら勉強することは大変ですが、施設の方々や先生方にサポートしていただき有難いです。辛いことに直面しても途中で諦めず、力の限り努力して、夢の第一歩のために頑張ります。

Orellana Evangeline (ジェリン)

あじけん流日本語授業

～令和2年度 第1回講師研修会～

今回のあじけん流日本語授業は、政府による緊急事態宣言の解除を受けて、去る6月5日（金）に行われた講師研修会の様子をお届けいたします。研修会には総勢 24 名の日本語講師が参加しました。先生方にとっても、約2か月ぶりの笑顔の再会となりました。

研修会は、今後授業が再開された時を想定し、会場は十分な換気と、ソーシャルディスタンスを確保。参加者は全員マスクを着用。試験的にフェイスシールドの装着も試みしました。また、入室時の手の消毒も徹底し、万全の感染予防対策下での開催となりました。

研修会では、授業が再開された時に、感染予防策としてできることについて、意見を出し合いました。また、今後の授業の在り方の選択肢の1つとして、ZOOM（Web 会議アプリ）を応用したリモート授業も体験しました。今回は、教室にいる講師が、寮にいる実習生に対してリモート授業を行うという設定で行われました。技能実習生の入国規制緩和のタイミングについては、まだ先が読めない状態が続いていますが、授業が再開された時には、実習生の皆さんが、安全かつ安心して日本語の授業に取り組めるように、スタッフ・講師一同万全の準備をして、その日を待ちたいと思っておりますので、今後とも、変わらぬご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



写真1：教室からの授業配信の様子



写真2：タブレット端末に映った生徒役の日本語講師の面々



写真3：教室に分散して、自分の携帯端末でリモート模擬授業を体験する実習生役の講師の先生方



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧いただけます